

# auto sport

Drive on the edge

Anniversary  
and  
NEXT

50<sup>th</sup>

オートスポーツ 2013 8/23号

夏のS-GT特大号

定価 580円

**SCOOP!!**

過激DTMエアロ武装で登場

# NSX-GT

CONCEPT 2014 Model



ついに捉えた  
ホンダ次期GT500マシン

Round4 SUGO 社絶。本山が、立川が、小暮が、寿一がはまった民

SUPER GT 2013 Mid-Summer Special 究極形1000kmスプリント 鈴鹿1000kmプレビュー&後半戦注目ポイント



年払は左足での繊細なタッチは単独走行では可能でも、混戦ではついラフになってしまいがちだった。



# Lamborghini 2013 Gallardo GT3 FL2

ランボルギーニ・ガイヤーGT3 FL2



GT300ギャラリー「反撃・最新GT3マシン」

劇的DF増がもたらした13年モデルの進化

## 手に入れた“真逆”の性格。

鈴鹿1000kmプレビュー  
& 後半戦注目ポイント

開幕岡山は燃料トラブル、第2戦富士はバーストで好機を逃したが第3戦セパンでは驚異の速さを誇るホンダCR-Z、スバルBRZのJAF-GTに対し織戸学がGT3で唯一食い下がり、青木孝行が脱水に打ち勝ち5位入賞後半戦、反撃ののろしを上げるGT3筆頭は、どんな走りを見せてくれるか



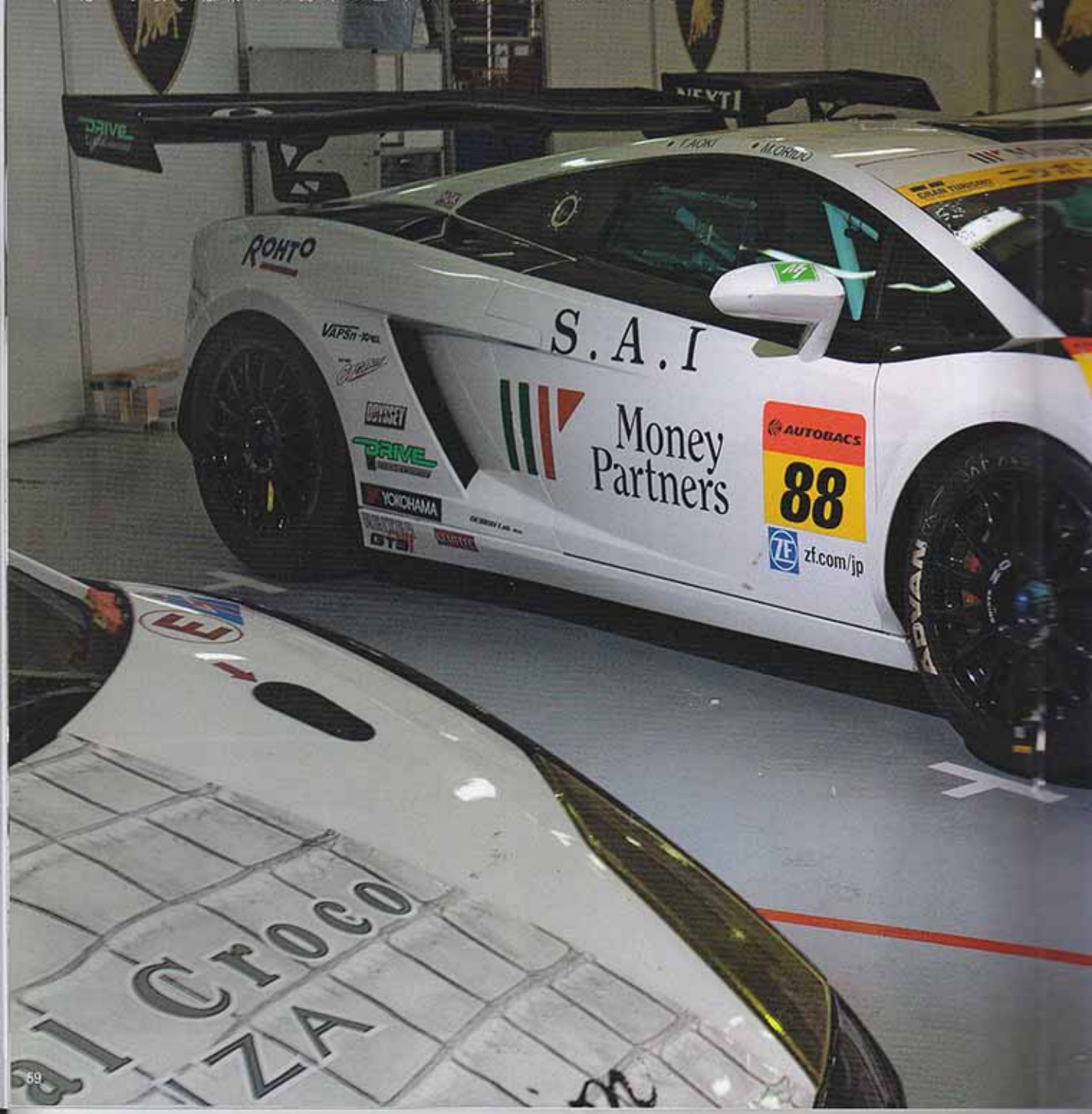
かつては6.0V12のカウンタック、ムルシエラゴに始まり、GT3車両を日本独自のカテゴリーに分類させるべく目前でFIA・GT2準拠に仕立て上げるなど（昨年まで現役、長らくランボルギーニとともに歩んできた）LOC。その彼らにとっても、今シーズンから導入した全く新しい「ランボルギーニ・ガイヤルドGT3 FL2」は、エポックメイキングなマシンだという。

「ランボルギーニ本社がライクアエンジニアリングと共同で開発に着手した初めてのGT3、協業で作った最初のGT3がこのFL2、ということになるね」と説明するのは、チームオーナーの則武功雄氏だ。

### GT3よりDF量がある

ランボルギーニのレーシングマシン開発を請け負うライクアエンジニアリング社は、2000年代以降のマシンはほぼすべてを開発したドイツの技術集団。昨年末までのモデル「GT3 LP600」（公称の86、87号車）も、もちろんその流れの中で仕立てられていたのだが、昨年あたりからランボルギーニ本体の活動とリンクしたワンメイクシリーズ用「スーパートロフェオ」の開発でランボルギーニ社からの要請を聞くうち、開発作業も自然と協業が図られるようになり、意外なことに今季から初めて本社のR&D（スクアドラ・コルセ）とライクアが公式に提携して仕上げたマシンがこの「FL2」ということになるのだという。

このFL2というマシンは、そうした





フロントには、従来のスポーツカーよりも大きなブレーキディスクを採用し、出し切りで制動できる。また、ブレーキディスクには、従来のスポーツカーよりも大きなブレーキディスクを採用している。また、ブレーキディスクには、従来のスポーツカーよりも大きなブレーキディスクを採用している。

# Front



# Rear

リアには、従来のスポーツカーよりも大きなブレーキディスクを採用し、出し切りで制動できる。また、ブレーキディスクには、従来のスポーツカーよりも大きなブレーキディスクを採用している。また、ブレーキディスクには、従来のスポーツカーよりも大きなブレーキディスクを採用している。